

途上国の保健人材を育成

持続可能な開発目標（SDGs）に向けて琉大と JICA が協力合意 看護週間にあわせて中南米 6 カ国から研修員が来沖

国立大学法人琉球大学（琉球大学）と独立行政法人国際協力機構 沖縄国際センター（JICA 沖縄）は、2018年5月10日（木）に「連携覚書に基づく保健医療分野課題別研修における協力合意書」（以下「合意書」）に署名します。

この合意書は、沖縄県の地域特性に根差した開発途上地域への国際協力および国際貢献、学術研究の発展に寄与することを目的として、2017年2月に両者が締結した「連携協力の推進にかかる覚書」に基づき、実施内容を定めるものです。

具体的には、JICA 沖縄が実施する保健医療分野の研修員受入れ（①母子保健強化、②感染症対策、③公衆衛生計画立案の3課題）において、開発コンサルティング企業である株式会社ティーエーネットワーク（本社：東京都渋谷区）が総括業務を受託するとともに、琉球大学教職員が研修コースリーダーおよび講師として参画し、運営と技術面での支援を行います。

2018年度は、琉球大学は上記3課題計8研修コースのうち、4コースの運営を担うほか、全コースで研修講義を実施します。また、研修コースを活用した学内セミナー等も開催し、国際協力人材育成のための教育プログラムの推進も図ります。皮切りとなる「母子保健強化」研修コースに参加する中南米6カ国10名の研修員（保健行政官、看護師、助産師）は、「看護週間」（5/6-5/12）中の5月9日に来沖し、6月15日まで琉球大学のほか各地の保健・福祉施設で学びます。

開発途上国では妊産婦および新生児の高い死亡率や保健サービスへのアクセス改善が課題になっています。また、最近県内でも発生した麻疹（はしか）のほか、国境を超える感染症への対策および公衆衛生活動の推進は先進国においても共通する取組みです。

この合意書により、両者は開発途上国の課題解決とともに、「持続可能な開発目標（SDGs）」（注）の目標3である「すべての人に健康と福祉を」の達成に向けて一層の協力を進めます。

つきましては、合意書の署名式を下記により開催しますので、是非取材をお願いします。

記

1. 日時：2018年5月10日（木）14:00～14:30
2. 場所：JICA 沖縄国際センター（浦添市字前田1143-1）本館1階 オリエンテーションルーム
<https://www.jica.go.jp/okinawa/>
3. 出席者：
 - （1）琉球大学 学長 大城 肇
理事・副学長 花城 梨枝子
 - （2）JICA 沖縄 所長 河崎 充良
次長 鈴木 薫
 - （3）株式会社ティーエーネットワーク

国内事業部長 土屋 克成、
技術顧問・医師 建野 正毅

(4) JICA 研修員「公衆衛生活動による母子保健強化（スペイン語）(A)」コース
6 カ国 10 名：

エクアドル、エルサルバドル、コロンビア、ドミニカ共和国、パナマ、ペルー
(参考) 2018 年度の JICA 沖縄 研修コース一覧 (予定)

<https://www.jica.go.jp/okinawa/enterprise/kenshu/index.html>

以上

注：持続可能な開発目標 (SDGs)

2015 年 9 月、ニューヨーク国連本部において「国連持続可能な開発サミット」が開催され、193 の加盟国によって「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が全会一致にて採択されました。2030 アジェンダでは、ミレニアム開発目標 (MDGs) の後継である新たな目標として「持続可能な開発目標 (SDGs)」を掲げています。



(参考)

JICA の web サイト：

<https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/index.html>

国連開発計画 (UNDP) 駐日代表事務所の web サイト：

<http://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/sustainable-development-goals.html>

【本件問い合わせ先】

JICA 沖縄国際センター 研修業務課

仲間 尚子 E-mail: Nakama.Naoko@jica.go.jp TEL : 098-876-6000 FAX : 098-876-6014

琉球大学 総合企画戦略部 国際連携推進課

金城 かおり E-mail : kaori@lab.u-ryukyu.ac.jp TEL : 098-895-8979 FAX : 098-895-8102